



「松田の未来を考える」現地見学ツアー(旧土木事務所)

答 (町長)

繰越明許費を含めると平成29年度は、48億円程の予算規模のスタートになる。将来の松田町の第一歩目になる事業が、目白押しの予算である。ご心配しているところもありますが、やらなければいけないのは、今だと思いを進めている。

質 町営住宅建設は、P-F方式で行われ、事業者が決定後の本契約の承認を議決することになる。本契約には、建設内容・完成後の管理方法・

大型災害発生時の業者負担などが、明記されるので、町が損失を被るのではない内容とするため、十分な説明を求める。

答 (総務課)

本契約締結の際に、審議していただく時間を十分に取り進めていきたい。

質 旧土木事務所の活用計画は、

答 (定住少子化担当室)

地域の方との現地見学やワーク・シヨップなどを開催し、参加者の意見を集約して方針を決めていきたい。

質 タブレットを使った授業の検証に関して、執行者側としての判断は、

答 (教育課)

小学5年生から中学3年生まで整備をする3か年計画で、29年度が最終

収支・財政

となる。タブレットは、効果的に授業の質を高めるのが狙いである。活用範囲を広げる中で、更に効果の出る使い方について、先生方と研究を深めていく。

質 町債の残高見込みについて、どのように推移するのか。

答 (政策推進課)

平成35年が町債残高のピークになる。実質公債費比率は、平成35年に8%程度になると試算している。

質 町税は、年々2千万円近く減ってきている。今後の対応を、どのように考えているのか。

答 (政策推進課)

町税は、減額してもその75%は交付税に算入される。補助金等を利用して事業を展開し、定住促進に力を入れ、町税の増額を見込む予算編成をし

ている。

質 経常収支比率が上昇傾向にあるが、自主財源比率をどう確保していくのか。

答 (政策推進課)

自主財源が減少する中で、必要な事業には極力国庫補助・県費を活用し持ち出しの少ない予算編成をした。この傾向は続くと思われるが、定住化等に積極的に取り組んで歳入を伸ばしていく。

質 敬老祝金・インフルインザの助成金はどうなったか。

答 (福祉課・子育て健康課)

敬老祝金は、平成29年度については、現行のままとし、年度中には検討し改正に努める。



有害獣駆除に出発する猟友会

質 観光協会の補助金が430万円以上と大幅に増額されているが、その根拠は。

答 (観光経済課)

観光立町を目指し、観光協会を一般社団法人化し、自ら稼げる協会としていくために、事務局員1名、アルバイト1名の人件費を計上した。また、若葉まつりと観光まつりが40周年を迎えるため、各20万円ずつ補助金を追加した。

質 ハンター育成事業に300万円の予算計上している。狩猟免許の取得補助金の支出対象者が、平成25年度は3人、26年度は1人、27年度はゼロとなっている。それから考えると300万円も計上し何をやるのか。

答 (観光経済課)

ハンターの担い手の確保のために、より充実した講習会を実施していく。また、関係者で新規ハンター育成の体制構築の検討会を行う。猟友会了解が得られれば、講習会を受講した希望者に猟友会の方々と同行し体験をしてみよう。